

高松市美術館改修基本設計の概要について

1

改修基本設計について

高松市美術館は、「美術に関する市民の知識および教養の向上と市民文化の発展に寄与する」ことを目的として、昭和63年（1988年）8月に開館し、高松市の文化芸術活動の推進に大きな役割を担ってきた。

しかしながら、近年の来館者数は開館当初と比べて減少傾向にあり、また開館から20年余を経過し、建物や設備機器の経年劣化が進むなど様々な問題が顕在化していることから、平成21年度に美術館の施設や設備の劣化の現状と改修等に要する経費などを把握するため実施した劣化調査診断では、建物および設備機器において、不具合が各所に発生してきており、展示・収蔵機能への影響が懸念されること、建物の現状を総合的に把握した上で、改修計画等が必要な時期を迎えているとの報告があった。

これらを踏まえ、24年度に今後必要な建物や設備機器の改修・修繕を始めとする取組の内容を具体化するため、改修基本計画を策定し、25年度に改修基本設計を行った。

本基本設計は、高松市美術館の現状と課題を踏まえて、具体的な改修内容を示したもので、今後、詳細な実施設計を実施するための改修内容を整理した。

2

改修基本設計におけるコンセプト

「人・街・未来につながるミュージアム」

美術館が25年間積み上げてきた長い歴史に、改修により新たに生まれ変わる美術館の未来がつながり、新しい「人・街・未来につながるミュージアム」が誕生します。

今回の改修基本設計におけるテーマは「つながる」です。

「創造都市・高松」の芸術の拠点として親しみやすく、こどもから高齢者までが気軽に立ち寄れる美術館を目指して今後実施設計に着手し、平成28年にリニューアルオープンする計画です。

人・街・未来、そして安心安全につながる以下の4つの改修課題に取り組みます。

I) ひとにつながる ミュージアム

- 1 福祉対応・バリアフリー対応のための改修
- 2 市民ギャラリーの拡充。講堂・ホワイエの多目的展示空間としての活用
- 3 わかりやすいサイン計画の改修
- 4 エレベーター1号機の全面的なリニューアル改修（バリアフリー対応）

II) まちにつながる ミュージアム

- 1 記憶に残る街角のシーンを創るため、芝生広場の創出
- 2 歩道を歩きながら美術館の内部が良く見える外構植栽の改修
- 3 ミュージアムショップでの地場産品の販売や地元販売ショップの紹介
- 4 カフェスペースに情報提供コーナーを設置
- 5 カフェランチにおける地産地消のフードを提供

III) みらいにつながる ミュージアム

- 1 こども、子育て世代が来館しやすい運用上の配慮
- 2 こどもアートのスペースの新規設置
- 3 こどもの作品展示スペースの新規設置
- 4 託児スペースの新規設置の検討
- 5 こどもの来館者を増やすための工夫

IV) 安心安全につながる 機能改修、劣化改修

- 1 建築工事
屋上・外部防水の改修
展示空間の劣化改修
新収蔵庫の設置
大空間展示室の耐震天井化
- 2 電気設備工事
変電、非常用発電設備の改修
照明設備の改修。LED化
- 3 空調設備工事
空調機器の更新改修・修繕
蓄熱槽の改修
- 4 衛生設備工事
トイレ設備の改修

人、街、未来につながるミュージアム 高松市美術館

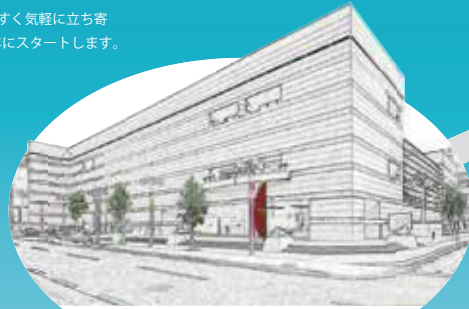
Creative City TAKAMATSU

昭和 63 年 8 月に竣工した高松市美術館の大規模改修を行います。
25 年間積み上げてきた美術館の長い歴史に、新しく生まれ変わる
美術館の未来につながり、「人、街、未来につながるミュージアム」
が誕生します。
テーマは「つながる」です。
「創造都市・高松」の芸術拠点として、親しみやすく気軽に立ち寄
れるコミュニケーションミュージアムが、平成 28 年にスタートします。

みらいにつながる



- ・こども、子育て世代が来館しやすい運用上の配慮
- ・こどもアートのスペースの新規設置
- ・こどもの作品展示スペースの新規設置
- ・託児スペースの新規設置の検討
- ・こども来館者を増やすための工夫



人、街、未来につながるミュージアム
高松市美術館

ひとにつながる



- ・福祉対応・バリアフリー改修
- ・市民ギャラリーの拡充、講堂の多目的展示空間としての活用
- ・わかりやすいサイン計画の全面改修
- ・エレベーターのフルリニューアル

まちにつながる



- ・記憶に残る街角のシーンを創る。芝生広場の創出
- ・歩道を歩きながら美術館の内部が良く見える外構植栽の改修
- ・ミュージアムショップでの地場産品の販売、地元販売ショップの紹介

「人・街・未来につながるミュージアム」のイメージ図

3

具体的な改修内容

(1) 展示室のリニューアル

ア) 2階 一般展示室・企画展示室

- ・劣化部分の内装改修（壁・床・天井）
- ・経年劣化が顕在化している移動式展示壁の軽量化, 更新
- ・釘打ち可能な壁面仕様に更新
- ・展示ケースの修繕, 改修
- ・照明設備の更新, 増設

イ) 1階 常設展示室

- ・釘打ち可能な壁面仕様に更新（常設展示室1）
- ・固定展示ケースの更新（高さ調整）（常設展示室2）
- ・室内照明設備のLED化

ウ) 1階 市民ギャラリー

- ・壁, 床, 天井の内装改修
- ・移動式展示壁を軽量仕様に更新
- ・室内照明設備のLED化

(2) 講堂・ホワイエの多目的利用

パネル展示が可能な市民ギャラリーとして多目的に利用できるようにする。

- ・スポットライト照明設置
- ・経年劣化のため、講堂の音響設備更新
- ・電動式の機構（バトン）更新、スクリーン設置
- ・特別展示→常設展示→市民ギャラリーに至る「回遊型の展示鑑賞動線」の確保



■講堂 改修後の多目的利用イメージ

(3) カフェ・ミュージアムショップの改修

1階のロビー、喫茶室を一体的に利用してカフェ・ミュージアムショップ・情報提供コーナー・美術関連書籍コーナーに改修する。カフェ部分は時間外・閉館時にも独立した利用が可能な計画とする。

- ・テイクアウト方式のカフェスタイルを計画
- ・軽食程度を調理できる厨房設備を実装
- ・美術関連書籍コーナーにガラス間仕切り設置



■1階 カフェ 改修後の内部空間のイメージ

(4) 授乳室、救護室の整備

1階旧職員控室を専用の授乳室、救護室として整備する。AED設備も設置する。

(5) 中2階 こどもアートスペース

こどもが美術工作や描画などの制作作業に利用できる空間改修を行う。

- ・こどもの本のコーナーを設置
- ・託児スペースとしての運用を検討



■中2階 こどもアートスペースの内装イメージ

(6) 中2階 情報提供コーナーの展示スペース化

美術館特別展や美術館収蔵の彫刻などの作品を展示するスペースとする。

- ・スポットライト照明設置



■中2階情報提供コーナー 改修後の展示スペース化イメージ

(7) 新設収蔵庫の設置

美術品等を系統的、計画的に収集し、適切な収蔵環境を維持するために、写真室と修復室を新規の収蔵庫として改修し、収蔵スペースを拡張する。

- ・収納棚、絵画ラックを設置

(8) ユニバーサルデザインへの対応

ユニバーサルデザインの観点から見やすく、分かりやすいサイン改修を行う。

- ・案内誘導サインの表記拡大
- ・多言語表記サイン、触知サインの設置
- ・階段部、スロープ部に点字鋏・手摺の設置
- ・トイレを和式から洋式に改修

(9) 地下駐輪場へのスロープの改修

駐輪場へのスロープの幅を見直すなど、使いやすいように改修する。

(10) 建物外壁・防水等の改修

- ・屋根および壁面部分の防水対策改修
- ・外壁の石貼り目地部分のシーリング材の打ち替え
- ・経年劣化により、搬入口の大型シャッターの更新
- ・エントランスホール天井トップライト部分のガラスの取替え

(11) 美術館の存在のアピール

- ・中央通りや丸亀町商店街から見えるサインの設置
- ・北側玄関前の大型施設名称サインのライトアップ
- ・北側、南側出入口部分のLED照明化
- ・出入口部分の壁面ライトアップ

(12) 外構景観の形成に配慮した植栽

北側の石張り階段部分を芝生植栽スペースに改修し、商店街からの視認性および北側の美術館通りの景観を創出する。西側外構については、歩道幅員が狭く歩行者のすれ違いも困難なため、植栽立ち上りを一部撤去の上幅員を拡張する。美術館内部への視認性が高まるように低木を撤去し、芝緑化を行う。



■外観 北側アプローチ空間の緑化改修後のイメージ

(13) ファシリティマネジメントの導入

既施設を有効に活用しつつ、適正な維持管理および長寿命化を図りながら、ランニングコストの削減を図るなど、ファシリティマネジメントを導入した取組を行う。

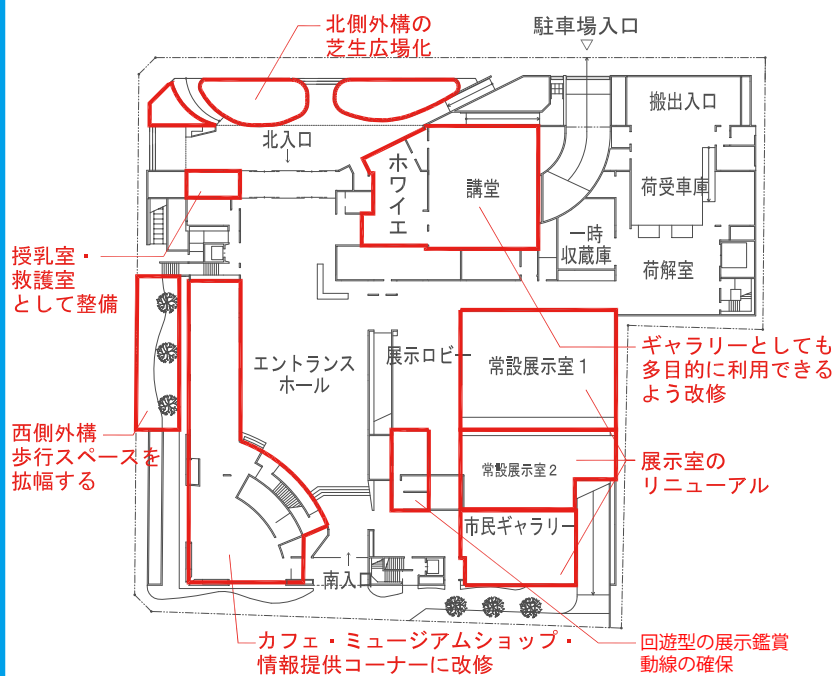
(14) エコ化対策

設備機器の更新に当たっては、環境負荷を低減する省エネルギーの観点から、また、ランニングコストの低減を目指し、機器選定等を行う。

照明については展示空間、居室関連、トイレ、廊下などの共用空間はLED照明化し、消費電力の低減を図る。

4

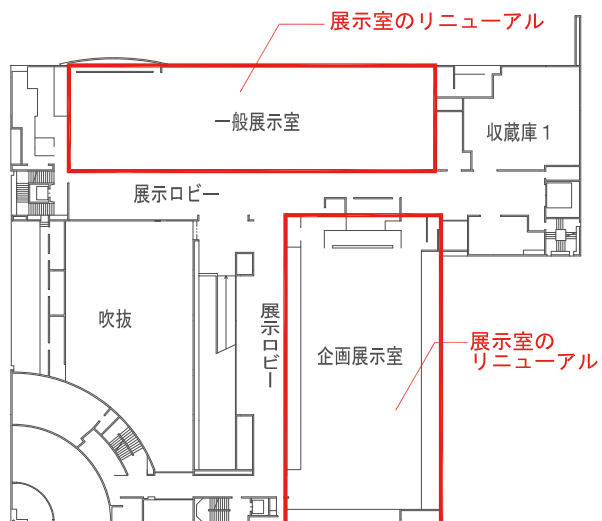
各階ごとの改修後の平面図



1階



中2階



2階



3階

5

設備の更新

(1) 機械設備

①空調設備

ア 熱源設備

- ・ 24時間系統（収蔵庫系統等）の熱源設備について更新
- ・ 蓄熱槽の改修

イ 空調機器設備

- ・ 各空調機器の更新
- ・ 1階喫茶室改修や新収蔵庫設置に伴う空調設備機器の更新

②給排水衛生設備

- ・ 受水槽，高架水槽等の更新
- ・ 衛生器具：和式便器から洋式便器へ更新
- ・ 新収蔵庫の設置に伴い，ハロン消化設備を設置
- ・ 1階喫茶室改修に伴う厨房器具設備の更新
- ・ 建築基準法に基づき，ガス湯沸器を更新

③建築工事に付帯する工事

- ・ 屋上防水改修工事に伴う工事

(2) 電気設備

①電力設備（受変電設備，幹線動力設備）

- ・ 受変電設備や幹線動力設備の更新

②自家発電設備等非常時電力設備

- ・ 自家発電設備の更新
- ・ 非常照明や赤色灯設備等の更新

③照明器具

- ・ LEDおよび高効率蛍光灯への更新
- ・ 展示室の照明の増設
- ・ 美術館玄関周りの照度改善，ライトアップ，美術館のアピール照明の増設

④通信防災設備

- ・ 放送設備や自動火災報知設備等の更新

⑤エレベーター

- ・ 地下駐車場のエレベーター（1号機）と作品搬入用エレベーター（3号機）の更新

⑥その他設備

- ・ 講堂音響映像設備，電気時計設備等の更新
- ・ 講堂および喫茶スペースに無線LANの対応が可能なLAN配線の設置
- ・ 1階カフェ・ミュージアムショップの改修や授乳室，救護室への改修および給排水衛生設備改修に伴う電気設備の改修

6

概算事業費

高松市美術館改修基本計画策定時において，概算事業費を約16億円と見込んでいたが，東日本大震災に伴う復旧・復興事業が本格化する中で，資材価格や技能者不足に伴う労務費の高騰や，2020年に開かれる東京オリンピック・パラリンピックに向け，首都圏で建設需要がさらに高まる見込みであること等，現時点で不確定な要素がある。今後，実施設計を進める中で，事業費について精査する。財源として，地方交付税措置のある起債制度の活用を検討する。

なお，長期休館を伴わない改修については，計画的に行う。

7

工程表

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
基本計画					
基本設計 実施設計					
工事(休館)					
リニューアル オープン					

- ・ 基本設計・実施設計 平成25～26年度
- ・ 改修工事 平成27年1月～28年1月
- ・ 竣工 平成28年1月
- ・ リニューアルオープン 平成28年3月（予定）